




|                       |  |   |
|-----------------------|--|---|
| プログラム名                | <b>宮教大ボウケンジャー</b><br>～もりのおべんとうづくり～   |   |
| 実施団体                  | ○団体名：宮城教育大学幼児教育研究会<br>○代表者名：伊藤 順子<br>○電話：022-214-3511 ○FAX：022-214-3511<br>○住所：〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149<br>宮城教育大学 幼児心理学研究室<br>○E-Mail：junko@staff.miyakyo-u.ac.jp |   |
| 対象者                   | 幼児（3歳以上）、小学校1～2年生（保護者同伴も可能）  |   |
| 対象人数                  | 30人まで  |   |
| 学習場所                  | 宮城教育大学   |   |
| 学習時間                  | 2～3時間  |   |
| 実施時期                  | 10月下旬～11月上旬  |   |
| 準備物品・費用等<br>(講師謝金を除く) | 実施団体側  | おべんとうカード、ライセンス、ボウケンジャーバッグ、救急セット、防虫スプレー、カメラ、印刷機、名札、帽子、ビニールシート（雨天時）紙芝居、材料カード、落ち葉、木の実等 |
|                       | 利用者側   | 空き箱、軍手、タオル、動きやすい服装、ビニール袋、昼食   |
| 事前打ち合わせ               | 実施の1ヶ月前まで（当日の流れ確認や、コースの下見等を行いたい。）  |   |
| 効果的な学習段階              | 幼児期の環境学習の導入  |   |

|      |   |  |
|------|---|--|
| 学習概要 | 1. 学習のねらい   |  |
|      | 幼児教育には、「環境」「表現」「健康」「人間関係」「言葉」という5領域が存在する。その5領域を相互関連させることで、子どもの「生きる力」の基礎を育むことをねらいとする。<br>(1) 探索活動では、子どもたちが豊富な自然環境に触れ、自然とのかかわりを深めていく中で、自然に対する興味・関心を育む。<br>(2) おべんとう作りでは、子どもが自由に作品を作ることで、表現する楽しさを味わう。また、材料の交換などを通して、親や友達などとかかわる力を育む。   |  |
|      | 2. 学習する内容   | 3. 学習のポイント   |
|      | (1) ボウケンジャー始まりの会<br>○一日の流れや安全・マナーの確認<br>○ボウケンジャー体操<br><br>(2) 冒険へ出発<br>○3つのコース（難易度別）に分かれ、探索しながらおべんとうの材料を集める。<br>冒険コースI(ほのぼのコース)<br>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に活動する仲間を確認する。</li> <li>アイスブレイクとして、みんなで楽しく体操する。</li> <li>葉っぱや木の実の、色や形の違いに気付く。</li> <li>同じコースの友達と、探す楽しみ、見つける喜びを共有する。</li> <li>五感を使って自然とかかわる。</li> </ul> ※平坦で穏やかな雰囲気のある原っぱで、のんびりと活動できるコース。 |

冒険コースⅡ(じっくりコース)



冒険コースⅢ(チャレンジコース)



(3) もりのおべんとうづくり

- 集めてきた材料を使っておべんとうを作る。
- おべんとうカードを作る。
- おべんとう鑑賞タイム



(4) 昼食

- 親や友達との会話を楽しみながら、昼食を摂る。

(5) ボウケンジャー・ライセンス授与式

「もりのおべんとうカード」とボウケンジャー・ライセンスを受け取る。

※宮教大のグラウンド内を探索するコース。歩く距離は少し長い。

※山の中を歩くコース。体力のある元気な子ども向け。

- ・冒険班を組み合わせ、おべんとう班をつくる。
- ・集めたものを見せ合ったり、交換したりすることで、交流を深める。
- ・素材を生かして自分のイメージを表現する。
- ・花や木の実をじっくり観察し、気付きを深める。
- ・作ったおべんとうについて、言葉や絵で自由に表現する。
- ・おべんとう作りに関しては、料理に見立てなければならないという制限は設けず、子どもの自由な表現を認め尊重する。
- ・和やかな雰囲気の中で、家族や仲間と食事をする楽しさを味わう。
- ・活動を振り返り、達成感を味わう。これからも自然に対して、興味・関心をもち、自ら自然とかわらうとする意欲を持つ。

学習概要

4. 学習のまとめ

普段山道を歩く機会が少ないと思われる幼児にとっては、コースを歩くというだけでも冒険となる。落ち葉や木の実を集めることを楽しみながら、それらに様々な種類や形、色などがあることに気づくようになる。また、落ち葉を踏んで感触を楽しむなど、体の諸感覚を使って自然とかわることができるようになる。さらに、親子で会話することを楽しんだり、初めて出会った友達とも採集したものを交換したりすることで、人間関係を育むことができる。

追加・変更できる  
学習内容

- 実施時期の変更
- 探索コースの変更

事前・事後学習につ  
いての助言

事後学習として、この活動によって得た様々なかかわり（自然とのかかわり・自然を通しての人とのかかわり）や、自然への興味・関心をさらに深めていっていただきたい。

雨天時の学習内容

- 雨天時は、探索活動の時間に室内レクリエーションを行う。
- 絵本または紙芝居（季節や自然を感じさせるもの）
- おべんとうづくり

プログラムの詳細

<http://www.feel-sendai.jp/program/bouken.html>